

あいち食の安全・安心推進アクションプランの 平成 27 年度計画の進捗状況について

●平成 27 年度計画の進捗状況

全 20 アクションのうち、計画どおり進捗したものは 14 アクション（70%）、ほぼ計画どおり進捗したものは 6 アクション（30%）であり、計画どおり進捗しなかったものはありませんでした。

評価	区 分	アクション数	アクション番号
A	計画どおりに事業が進捗したアクション数 (進捗率が100%以上又は計画を達成したアクション)	14 (70%)	1、3、4、5、6、 7、8、10、11、13、 14、15、16、17
B	ほぼ計画どおりに事業が進捗したアクション数 (進捗率が80%以上100%未満又は概ね計画を達成したアクション)	6 (30%)	2、9、12、 18、19、20
C	計画どおりに事業が進捗しなかったアクション (進捗率が80%未満又は計画が達成されなかったアクション)	0	

[進捗状況の評価結果一覧]

アクション	施策項目	評価結果
1	環境と安全に配慮した農業の推進	A
2	安全な鶏卵等の生産と家畜疾病の監視	B
3	安全なきのこの生産	A
4	安全な貝類の出荷	A
5	農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産	A
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用	A
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究	A
8	農畜産物のトレーサビリティシステムの推進	A
9	愛知県版 HACCP 認定制度を始めとする食品営業者の自主管理の推進	B
10	食の安全に関する検査・製造技術の研究開発及び指導	A
11	安全な学校給食用物資の供給	A
12	食品営業施設に対する監視指導	B
13	医薬品成分を含む健康食品などの流通防止	A
14	輸入食品を含む食品の安全検査	A
15	安全な食肉の流通確保	A
16	JAS 法を始めとする食品表示の調査・監視	A
17	地産地消や食育の推進	A
18	学校における食の指導の充実	B
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及	B
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進	B

あいち食の安全・安心推進アクションプランの平成27年度計画の進捗状況について

視点 1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1)安全な農林水産物の生産の推進

アクション		平成27年度計画	実績	備考	担当課
1	環境と安全に配慮した農業の推進 評価 A	目標 農産物環境安全推進マニュアルを始めとするGAP手法の導入産地等数 年間120産地等	年間142産地等		農業経営課
		事業の内容 GAP手法の導入推進会議の開催	会議の開催 1回		
		GAP手法の導入に関する地域検討会の開催	地域検討会の開催 10回		
		エコファーマーの育成・支援	認定会議 4回		
2	安全な鶏卵等の生産と家畜疾病の監視 評価 B	目標 家畜伝染病発生頭数 過去5年間の発生件数の平均値より1割減 596頭以下	667頭		畜産課
		事業の内容 畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績/検査計画=100%の達成	100%		
		養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術(鶏卵のサルモネラ総合対策指針)の普及	個別巡回指導 231農場		
		BSE検査頭数/48か月齢以上の死亡牛発生頭数= 100%	100%		
		養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象9戸 毎月1回延べ1080検体 鳥インフルエンザ監視検査 140戸	対象9戸 毎月1回延べ1080検体 140戸		
3	安全なきのこの生産 評価 A	目標 県内の生産者における、食品衛生法に基づく放射性物質に関する基準の超過事例 0件	0件		林務課
		事業の内容 生産者団体が自主的に開催する研修会等において技術・情報の提供 4回延べ60名	4回延べ92名		
		県産きのこ展示PR会等において、きのこの安全・安心に関するパンフレットの配布 PR会1回 パンフレットの配付100部	PR会1回 パンフレットの配付100部		
		生産者に対し、放射性物質の基準値を超えないきのこ製造原料を使用するよう指導 随時	指導回数4回		
4	安全な貝類の出荷 評価 A	目標 愛知県産貝類の貝毒を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課
		事業の内容 貝毒原因プランクトン調査 調査期間:4~6月、1~3月 調査地点:1回当たり13地点 調査回数:年間20回	4~7月、11~3月 1回当たり14地点 年間21回		
		貝毒検査 調査期間:4~5月、2~3月 調査地点:1回当たり6地点 調査回数:麻痺性5回・下痢性2回	4~5月、3月 1回当たり6地点 麻痺性5回・下痢性2回		
		自主検査の実施指導	指導回数1回		

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課	
5	農業の適正な販売・使用による安全な農産物の生産 評価 A	目標	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例 0件	超過事例 0件		農業経営課	
		事業の内容	農薬危害防止運動の実施	農薬危害防止運動の実施			
			農薬危害防止運動集中実施期間:6~8月	集中実施期間 6~8月			
			農薬適正販売・使用推進会議の開催	会議の開催 1回			
			農薬安全使用対策講習会の開催 3回450名	9回 623名			
			農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15% 使用者適宜	農薬販売者 15.6% 使用者 8件			
			農薬危害防止のための講習会 20,000名	講習会参加者 28,695名			
			農薬管理指導士の養成 100名	養成 130名			
			農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所38名配置	8か所 41名配置			
地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 15剤	実施 18剤						
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用 評価 A	目標	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例 0件	0件		畜産課	
		事業の内容	水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例 0件	0件		水産課	
			飼料製造工場立入検査 9施設	9施設		畜産課	
			飼料栄養性検査 18検体	18検体			
			飼料表示検査 18検体	18検体			
			畜産農家等巡回指導・抜取調査 90戸	94戸		水産課	
			水産用医薬品の適正使用の指導対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 164経営体	164経営体			
水産用医薬品の使用状況調査対象者:ウナギ、アユ、マス養殖業者 164経営体	164経営体						
水産用医薬品の残留確認対象魚種:ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体	計18検体						
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究 評価 A	目標	病害虫抵抗性品種の開発2015年までに 4品種	新品種の開発:4品種		農業経営課	
		事業の内容	安全で良質な農畜産物を生産する技術・品種の開発「主要農作物の優良品種の育成・選定」等 10課題	研究課題の実施:10課題			

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課
8	農畜産物の トレーサビリティ システムの推進 評価 A	目標	畜産物へのトレーサビリティ導入事例 4品	4品		畜産課
		事業 の 内容	米トレーサビリティ法の普及・啓発	食品表示法(旧JAS法)遵守状況調査にあわせて米トレーサビリティ法の啓発を実施		食育推進課
			畜産物トレーサビリティの普及推進	農家巡回指導時に制度の定着を確認するとともにモデルとなる取組を普及推進。		畜産課
			農産物の生産履歴の記帳の普及啓発支援及び生産履歴管理システム(トレーサビリティシステム)の効果的な運用の支援	農産物の生産履歴の記帳の普及啓発支援及び生産履歴管理システム(トレーサビリティシステム)の効果的な運用の支援		園芸農産課

(2)食品加工施設などにおける自主管理の推進

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課
9	愛知県版HACCP認定制度 を始めとする食品営業者の 自主管理の推進 評価 B	目標	「愛知県リスク管理優秀店認定制度」に基づく新規認定施設数 100施設	49施設		生活衛生課
			「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 5施設	5施設		
		事業 の 内容	保健所及び食品衛生検査所による食品衛生教育講習会 300回	247回		
			食品衛生責任者養成講習会 16回	16回		
			食品衛生責任者再講習会 100回	100回		
			食のリスク管理サポート事業・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設	1390施設		
	大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP導入研修 15施設 HACCP実地指導 5施設×1回	22施設 5施設×1回				
10	食の安全に関する 検査・製造技術の 研究及び指導 評価 A	目標	平成27年度末までに、食の安心・安全に係る計測装置の試作品数及び商品化件数 10件を達成	12件		産業科学技術課
		事業 の 内容	「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト(食の安心・安全技術開発)として食品・農産物に関する検査技術に関する研究を実施 3テーマ	3テーマ実施		
			講習会等を通じた技術情報の提供	講習会・研究会の開催 29件、724人		
			食品製造業者への技術指導の実施	現場指導 589件 所内指導 3,189件		

視点 2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1)食品の監視・検査の確実な実施

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課
11	安全な学校給食用 物資の供給 評価 A	目標	学校給食における食中毒の発生件数 0件	0件		健康学習室
		事業の内容	・食材の腸管出血性大腸菌O157検査 ・食器の重金属などの溶出検査 ・野菜・果物の残留農薬検査 3種検査 123検体	3種検査 123検体		
12	食品営業施設に対する 監視指導 評価 B	目標	食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 9件(過去5年間の発生件数の最少件数)以下	9件<12件(当年度発生件数)		生活衛生課
		事業の内容	監視指導計画 88,255件	88,442件		
13	医薬品成分を含む 健康食品などの流通防止 評価 A	目標	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 0件	0件		医薬安全課
		事業の内容	医薬品的効能効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件	15件		
		事業の内容	医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	12検体		
14	輸入食品を含む 食品の安全検査 評価 A	目標	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
		事業の内容	食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 11,798件(うち流通食品の放射性物質検査 100件)	12,374件 (うち放射性物質検査 100件)		
15	安全な食肉の流通確保 評価 A	目標	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件	0件		生活衛生課
		事業の内容	検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)÷申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) = 100%の達成	100%		
		事業の内容	と畜場の衛生監視 12件	12件		

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課
16	JAS法を始めとする 食品表示の調査・監視 評価 A	目標	JAS法遵守状況調査における適正表示 80%以上	食品表示法(旧JAS法)遵守状況調査 における適正表示 81.6%		食育推進課
		事業 の 内 容	JAS法遵守状況調査の実施 800か所	814か所実施		
			食品表示110番の設置 継続	継続		
			食品衛生監視員によるJAS法監視の実施 継続	食品表示法による監視の実施	平成27年4月に食品表示法が施行されたため。	生活衛生課
			普及啓発研修会の開催 16回	23回		食育推進課
			食品表示法の説明会 1回	6回		
			消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回	モニター通信による情報提供 3回		県民生活課
消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	研修会の実施 1回					

視点 3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実
(1)食の安心に向けた食育の推進

アクション		平成27年度計画		実績	備考	担当課
17	地産地消や食育の推進 評価 A	目標	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 10万人	10.5万人		食育推進課
		事業 の 内 容	いいともあいちネットワーク会員の充実	1,352会員		
			ホームページなどの情報発信の充実 継続	継続		
			研修会(6次産業化・地産地消ビジネスフェア(仮))の開催 1回	6次産業化・地産地消 ビジネスフェアの開催 1回		
			いいともあいち地域サロンの開催 7地区	7地区		
			いいともあいち推進店の登録の推進	999店		
			食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 2回	2回		
食育推進ボランティア同士の連携企画等の実施 7回	11回					
18	学校における 食の指導の充実 評価 B	目標	学校給食において地域の産物を活用する割合 45.0%	40.5%		健康学習室
		事業 の 内 容	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施	3回		
			学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週	3.7回/週		
			学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 260万食	254万食		
			子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 6,000点	8,721点		
			学校給食の衛生管理等に関する調査研究 15調理場	15調理場		
			栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年	1回/年		
			学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年	1回/年		
学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 600人	473人					

(2)食に関するリスクコミュニケーションの推進

アクション		平成27年度計画	実績	備考	担当課	
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及 評価 B	目標	講習会参加者アンケート結果「理解が深まった」旨の回答 95%以上	76.2%		生活衛生課
		事業の内容	食品衛生講習会 45回	25回		
			食の安全・安心教室 4回	5回		
			SNSによる食の安全・安心情報の発信	Facebookページによる情報発信 20件		
			消費生活情報紙への食の安全・安心情報の掲載 随時	・消費生活情報「あいち暮らしっく」への食の安全・安心情報の掲載 4回 ・「あいち暮らしWEB」への情報提供 19回		県民生活課
県民生活プラザ相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時	相談員会議やメールにて情報提供 15回					
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進 評価 B	目標	リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答 95%以上	94.6%		生活衛生課
		事業の内容	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続	相談件数215件		
			食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回	13回		
			現地見学型リスクコミュニケーション 2回	2回		